第６回　北海道農業法人協会次世代サミット
『今一度コスト意識について考える』

事例紹介：フクハラファームにおける低コスト大規模稲作について

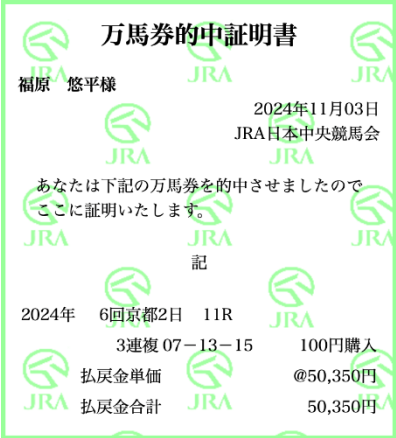
(有)フクハラファーム　代表取締役社長　福原悠平

Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

自己紹介

１９８４年生まれ　40歳
有限会社フクハラファーム代表取締役社長（２０１７年より現職）
家族　妻、長男（10歳）
趣味　競馬

・大学卒業後、彦根市内の飲食店で働くも経営不振で閉店し、退職。
・「一生続けられる仕事をしないといけない」と思って家業を手伝うことに。
・翌年から当時つくばにあった農業者大学校へ。
・震災直後に就農。2014年常務取締役、2017年より現職。



万馬券的中証明書

福原　悠平様

2024年11月03日
JRA日本中央競馬会

あなたは下記の万馬券を的中させましたので
ここに証明いたします。

記

2024年　6回京都2日　11R
3連複 07－13－15　100円購入
払戻金単価　@50,350円
払戻金合計　50,350円

Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

経営概況

経営面積		233ha
	水稲	185ha
	麦	41ha
	キャベツ	24ha
	大豆	15ha

85%程度で利用権設定済

経営面積の
府県平均
＝2.08ha

約100倍

登記簿上　約1000筆

↓

約320筆に連坦化
平均圃場面積約72a
（地域の平均２０～３０a）

設立	平成　6年
資本金	約2,200万
農産物販売額	約4億　（水稲自社生産2.6億　水稲仕入販売0.8億　野菜0.6億）
役員	2名　（代表取締役社長　福原　悠平）
従業員	14名　アルバイト若干名
業務内容	米・麦・大豆・野菜の生産・販売
主要取引先銀行	滋賀銀行　稲枝支店 JA東びわこ　稲枝支店 三菱東京UFJ銀行　草津支店
受賞歴　等	2008年　第44回農林水産祭　京都新聞社賞 2010年　第38回毎日農業記録賞　優秀賞 2013年　農業・食品産業イノベーション大賞　人材育成部門賞 2015年　アグリフードEXPO　輝く経営大賞　経営部門　最優秀賞 日本農業経営学会　実践賞 2016年　秋の叙勲　黄綬褒章（福原昭一）
関連会社	(株)農匠ナビ

Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

地域（彦根市稲枝地区）の概況

・平坦で病害虫も少ない好条件地・・・昭和５０年代に区画整理、パイプライン化
・若い人も多い・・・就農後の生活ビジョンが見える
・担い手に集積進む・・・生産者による利用権の交換

	管内 全農家	稲枝管内 認定農業者	
農家人数	489	64	（人）
経営者が40代以下	―	13	（人）
すでに後継者が農業に従事している経営体	―	5	
農地面積（水田面積）	1470	1216	(ha)
主食用水稲作付面積	874	682	(ha)
水田担い手集積率		82.7	（%）

Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

FUKUHARA FARM

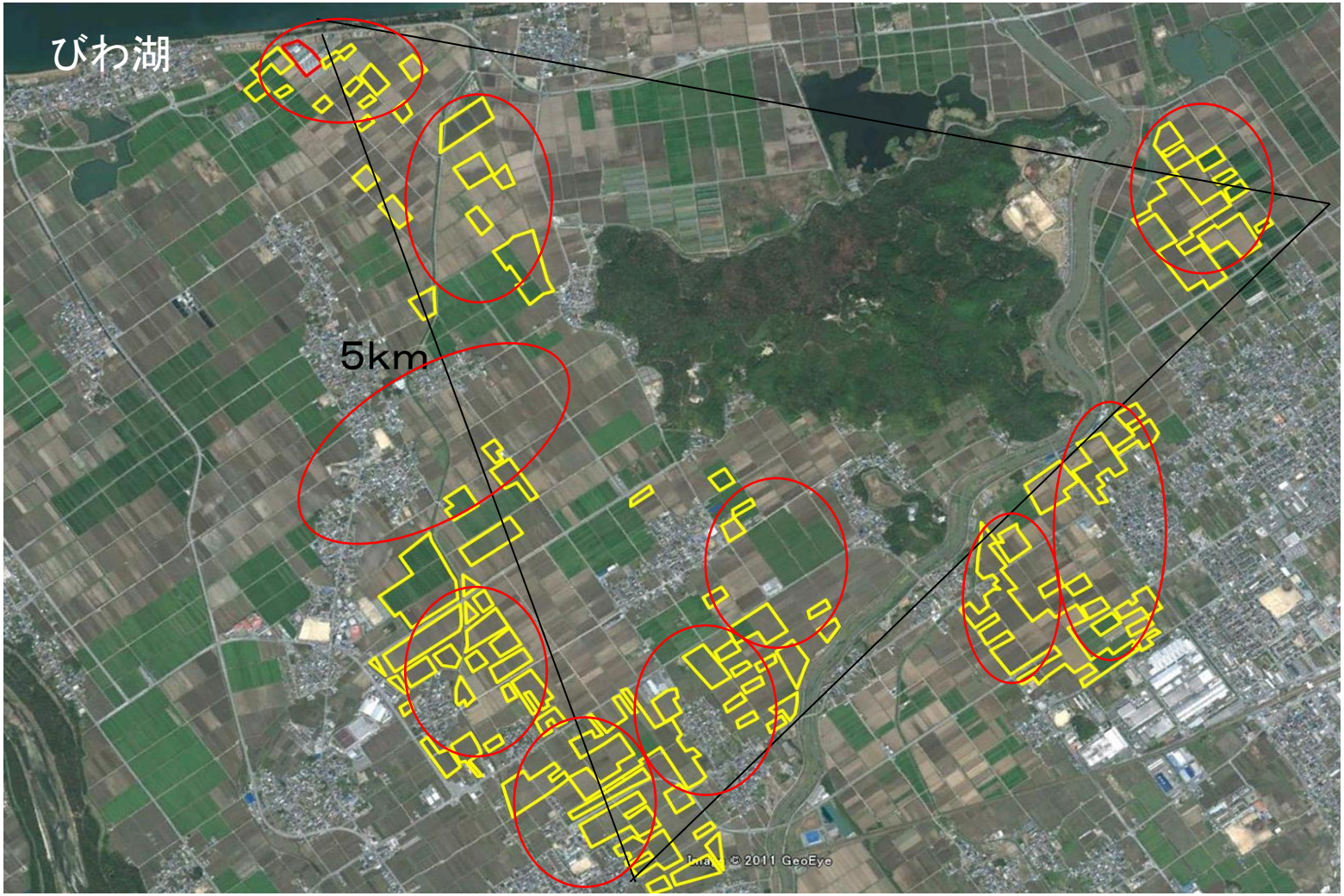
沿革

1982年	創業者の福原昭一、父の死をきっかけに帰郷。 土地改良組合に就職し、兼業農家へ。	**2 ha**
1990年	親戚中から田んぼを集めて専業農家へ転身。	**10ha**
1995年	雇用をきっかけに法人化（彦根市初の農業生産法人）。 有限会社フクハラファーム設立。	**35ha**
2002年	関西圏最大規模となる経営面積100ha突破。	**100ha**
2009年	(株)富士通と提携。ICTへの取り組みスタート。	**135ha**
2010年	南石教授（九州大学）のプロジェクトへ参加。 2018年現在も継続中。	**149ha**
2011年	福原悠平就農。加工業務用野菜生産開始。	**156ha**
2013年	新ライスセンター竣工。	**167ha**
2016年	ぶった農産、横田農場、AGLと農匠ナビ(株)設立。 福原昭一、黄綬褒章受章。	**17 4 ha**
2017年	福原悠平、社長に就任。	**177ha**

Copyright©2016 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

FUKUHARA FARM

フクハラファームの農地分散状況



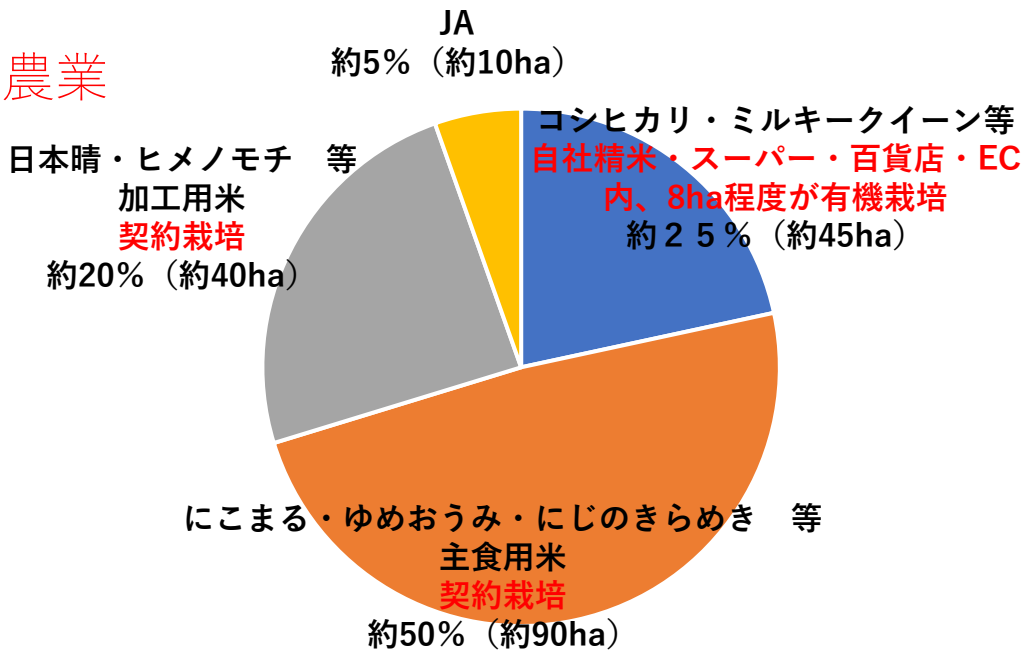
Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

経営理念

地域農業の発展こそわが社の繁栄と心得、「和・誠実・積極性・責任感」を持って、世に感動を与える仕事をします。

会社の繁栄と従業員の幸せを両立させ、「明るく、いきいきと、未来の描ける」会社を目指します。

「ブレない」農業、「守る」農業



米作りのモットー

・基本的技術の励行
＝**当たり前のことを当たり前に**
・低コスト×高収量＝高収益
・売れないものは作らない

約７０％が契約栽培

Copyright©2024Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

経営方針

①モノつくりへのこだわり
・有機JASや特別栽培米生産による高付加価値
・溝切り（中干し）、追肥、除草、といった管理作業を大規模でも欠かすことなくこなしていける体制

②平場農業の強みを活かす
・平坦地域の立地を最大限利用する
・農地の面的集積・圃場の大規模化
→直播の拡大による低コスト化
→生産者間による利用権の交換
・生産記録とデータの活用

③農業生産の総合化
・野菜の導入、麦大豆の拡大
→労働力の最大効率化
・麦後加工用米、麦後野菜など二毛作体系の確立

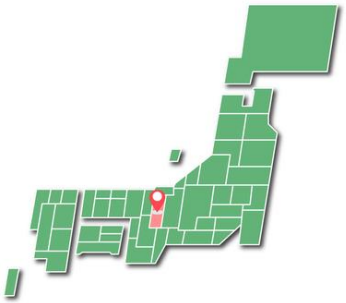
Copyright©2024Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

自分たちの強みはどこか

①平野部であること
　日本農業の特性を考えた場合平地であるだけで強みとなる

②冬もそれほど雪は降らない（平均降雪量6.1cm）
　冬場にも作物を育てることができる

③日本の中心に位置し京阪神はもとより福岡や中京、関東も商圏に



Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

利用権の交換事例

Ｉ集落　２０１４年度

Ｉ集落　２０１５年度

弊社圃場
生産者Ｎ氏圃場

④JAを窓口とした農地集積組織が昭和の時代から存在

利用権の交換や畦畔撤去による区画拡大が地域全体で実施

強みを活かしていくためには

①農地集約＋区画拡大による低コスト生産
②大区画圃場を活かした転作作物の導入による利益の拡大

Copyright©2024Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

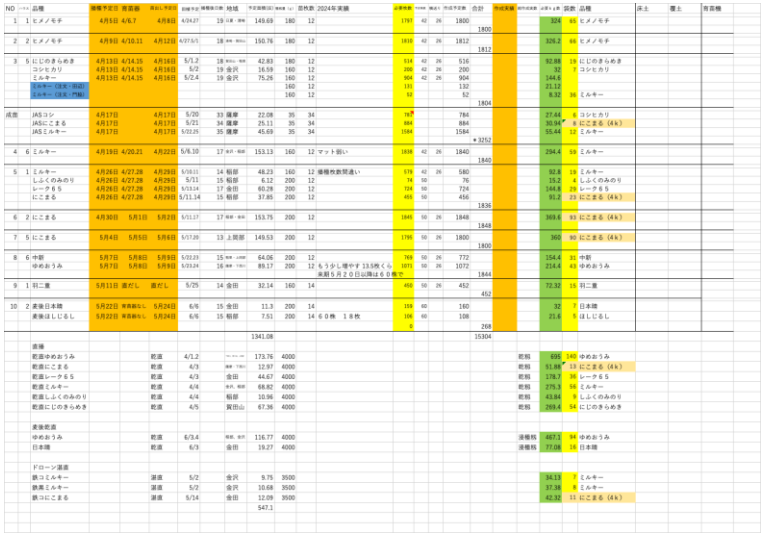
区画の拡大

	耕地面積	圃場数	平均面積	直播面積（内、乾田）	麦面積	大豆面積	キャベツ面積
			単位：a	単位:ha	単位:ha	単位:ha	単位:ha
２０１５年	157	369	42.55	9.9(0)	15.2	12.9	7.9
２０２４年	234	326	72.22	57(51)	40.8	14.9	24.6

・区画の拡大と直播の導入により、水稲の労働時間を約22％削減
→削減した労働力を小麦やキャベツへ分配　利益の拡大
・大区画圃場でこそオートトラクタやGPS搭載作業機が活きてくる
→トラクターの自動操舵、キャベツの畝立て、GPSブロキャスによる元肥散布等
・最大で2.8haの圃場　2025年度中に4ha区画の誕生も目指す

Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

強みを活かしていくために



| | | |

どこが弱点か

穂肥作業実績

	1日の平均動員人数	最大動員人数	10a当の作業時間	1人当の最大実施面積
2021～2023	3.28人	7人	0:13:40	7.55ha
2024	2.1人	4人	0:11:37	14.15ha

※2023途中まで背負いと流し込み施肥主体、2024は全面積ドローン散布

6～8月の畦畔除草作業時間

	総時間	平均人数	最大人数	稼働日数
2021	1134	3.97	9	39
2023	1439	4.13	9	64
2024	1452	4.91	9	60

・年間最も時間を費やす（＝足を引っ張る）畦畔管理

Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

同じ品種で１２０kgも収量差が生じる

タスクの詳細

１１宮ノ森	作物 稲	作付日 2024.04.29	収穫日 2024.09.24	実際の収量)(4 98/107
タスクの種類 施肥	合計 214.32 98		作業日 2024.07.2(	タスクステータス 実行済み　作業者

商品	合計	割合	.	/	–
. –化成	%14.3% 32	11 32/101	%.% 32/101	0 32/101	1.1 32/101
合計	%14.3% 32	11 32/101	%.% 32/101	0 32/101	1.1 32/101

散布マップ

日付	ゾーン	面積 (1)	%
%0%4.07.%(	ゾーン1	4(.7%	%3.47
	ゾーン%	7) .3)	39.19
	ゾーン3	37.88	19.44
	ゾーン4	%%.79	11.7
	ゾーン(	1%.09	) .%

タスクの詳細

２４四丁地	作物 稲	作付日 2024.0(.2)	収穫日 2024.10.0(	実際の収量 (34 98/107
タスクの種類 施肥	合計 408.4(98		作業日 2024.0(.22	タスクステータス 実行済み　作業者

商品	合計	割合	.	/	–
直播用セラコート０３０７７	408.4(32	4(32/101	13.(32/101	3.1(32/101	3.1(32/101
合計	408.4(32	4(32/101	13.(32/101	3.1(32/101	3.1(32/101

散布マップ

日付	ゾーン	面積 (1)	%
%0%4.0(.%%	ゾーン1	1(.44	17.0%
	ゾーン3	34.73	38.%7
	ゾーン4	%7.71	30.(3
	ゾーン(	1%.88	14.19

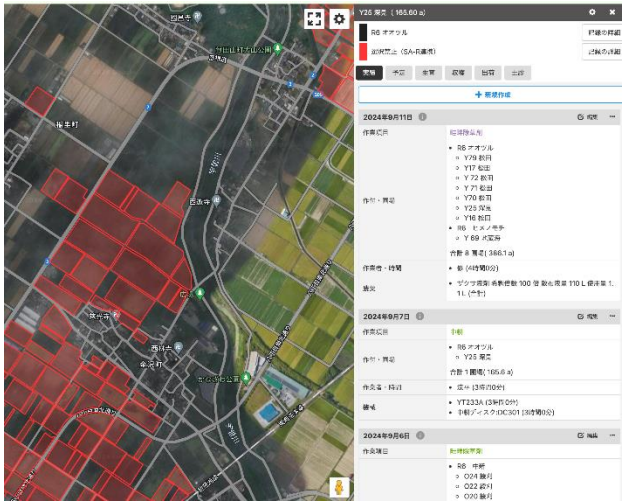
規模拡大に伴い足を引っ張る圃場、作業、品種、販路etc

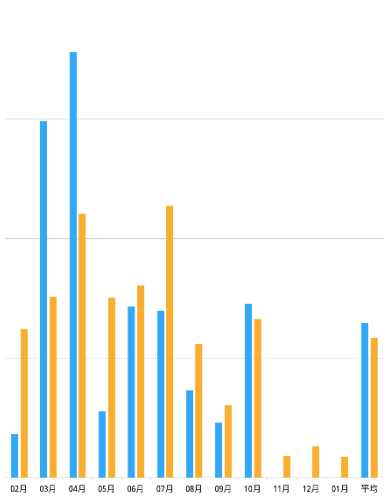
＝弱点＝コスト増の原因も増えてくる

見極めと適切な処置が重要になる

Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

弱点を見極めるために
フクハラファームがやろうとしていること





- 計画とそれに対するアウトプットの対比
- 確固たる事実の把握
- 追えるだけは数字で追っていく

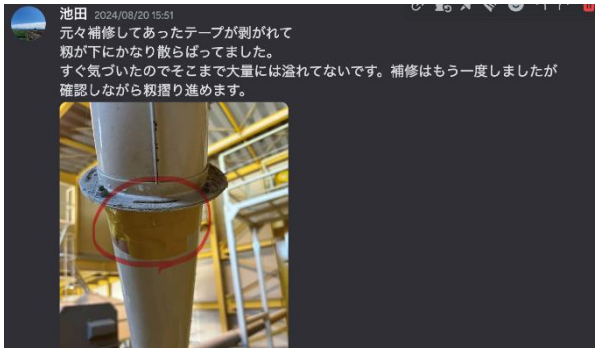
Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

・自動操舵やドローンなどの積極的な導入

・作業適期を逃すことが一番のネックになる
→適期を逃さないために作業体系を整える

Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

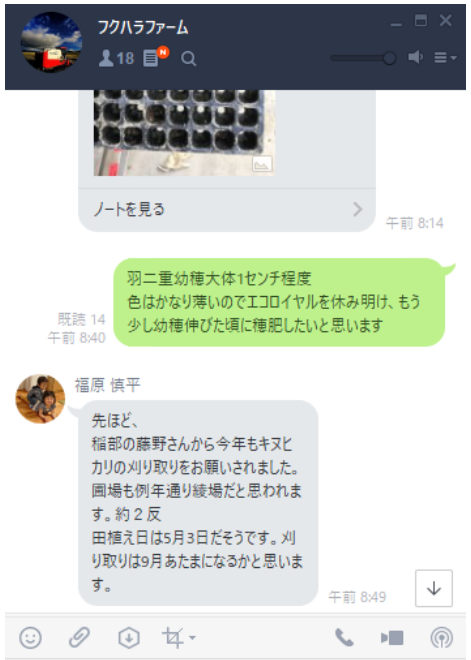
ミス・トラブルはあとを絶たず・・・

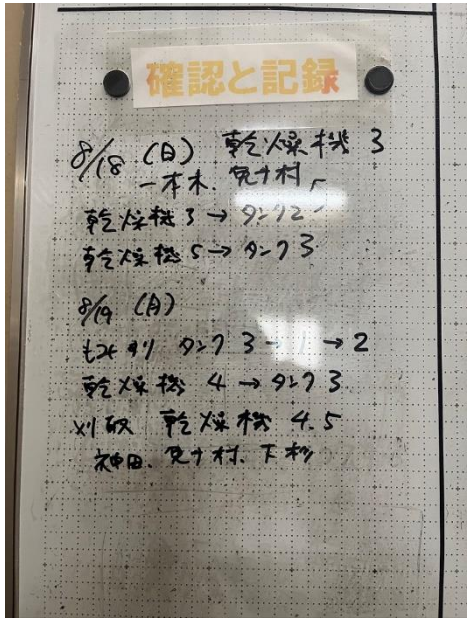


小さなトラブルが積み重なって大きな負担に

Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

情報共有でトラブルを回避する





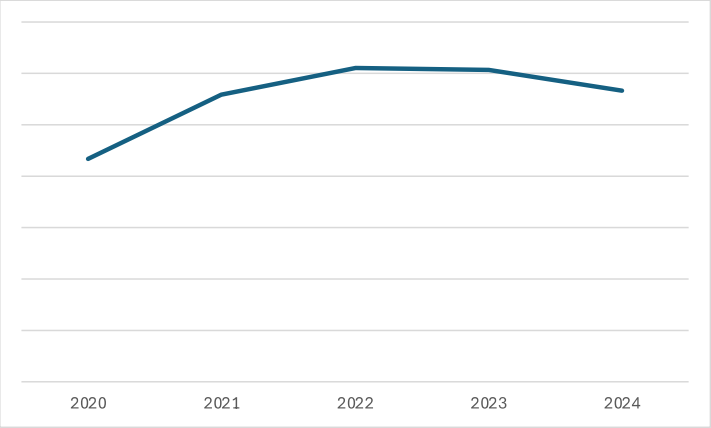
- トヨタ方式のコンサルティング
- 会計事務所による月１回の巡回
- 日々の朝礼
- 月１回の全体ミーティング
- 日常的なやり取りはホワイトボードやLINE
- ボーナス時期に面談

Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

今後の課題　－さらなる低コスト化を目指して－

・収量及び品質の安定
　→気候変動にどこまで対応できるか？
・肥料農薬費のさらなる削減
　→緑肥・堆肥の施用による肥効上昇
・圃場区画等利点を一層活かした経営
　→直播と移植の組み合わせの高度化
　→耕作回転率の向上
・先代の技術（＝コアコンピタンス）を継承する
　→数値化と可視化
・様々なリスクの排除

米１kg当の製造原価



低コスト・省力化
データ活用による効率化
複合化による水田の高度利用

より安定した収量・品質
データの蓄積・解析
作業精度の向上

経営継承
知財・技術の伝承
後継者育成

「ハード」から「ソフト」、そして「ヒト」の充実へ

Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.

ご清聴ありがとうございました。

Copyright©2024 Fukuhara Farm Co.,LTD. All Right Reserved.